

機能訓練に特化した、
患者さんに寄り添う最善の
通所リハビリテーションを
ご提供

吉田病院の通所リハビリは、脳卒中やパーキンソン病などの急性期・回復期の治療を終えた患者様の退院後の日常生活の能力向上や社会生活を営むためを目的とした、機能訓練に特化した通所型のリハビリです。病院との連携体制の充実を図り、目標を絞った個別強化型リハビリプログラムとなっています。

介護医療院よしだ
リハビリテーション部副室長
清水 淳也

病院との密接な連携体制を
図り切れ目のないリハビリ
で機能回復を目指す

当院の通所リハビリの一つ目の特長は、病院との密接な連携体制による充実したサポートの実現です。吉田病院では、脳卒中の治療と並行して早期からリハビリを取り入れることにも力を入れています。それは、リハビリの開始が早いほど、そして運動量が多いほど、脳が順調に回復することが分かっているからです。一般的には、病院を退院してしまうと、なかなか同等のリハビリを受けることは難しいとされていますが、当院では、退院後も引き続き同等のリハビリを提供しています。このような体制をとっているところは全国でも少なく、利用者様にとっては理想的な通所リハビリと言えるでしょう。

退院後の患者さんを徹底フォロー
リハビリに関わるすべての療法士
が促進回復療法（川平法）を習得

二つ目の特長は、療法士全員が促進回復療法（川平法）を習得し、実践していることです。川平法とは、鹿児島大学名誉教授の川平和美氏が考案した方法論で、麻痺した手足を療法士が動かす、患者さんに同じ運動を反復してもらうことで神経回路を再構築させます。

手や足に刺激を与えることで脳の損傷した部分の代役を果たす神経回路の再建、強化をおこなう機能回復を促進します。手足が動かかなかった人でも、川平法によって驚くほど動くようになる効果が得られることがあります。これまで提唱された方法に比べて、麻痺の回復を促進することが科学的検証で確認されている数少ない方法の一つです。

利用者様からは、頭も身体も使うトレーニングが面白い、体がしっかりしてきた、面白くトレーニングができる、他院のところにはない工夫がありリハビリが楽しいなどの声を頂いております。



インタビュー全文を
WEBページにて公開しています。

<https://www.yoshida-hp.or.jp/column/interview/index07.html>



**目標を絞ってリハビリできる
個別強化型の
1時間型デイの開始**

1時間型デイでは、理学療法士と作業療法士の2人体制で個別リハビリテーション・マシントレーニング・自主トレーニングをそれぞれ20分ずつ行います。個別リハビリテーションの20分間をマンツーマンで対応し、希望に沿ったリハビリを行っています。少人数制のため、短時間で目標も明確にでき、療法士とのかかわりも濃厚ですので、満足のいく充実したリハビリを受けられます。

メルマガ登録はこちら

吉田病院メールマガジン <https://www.yoshida-hp.or.jp/tiiki/newsletter.html>

日々の診療にお役に頂ける脳疾患に関する専門的な情報や当院の取り組みにメルマガにて配信しています。
※配信停止などはいつでも行って頂けます。



社会医療法人榮昌会
吉田病院 附属脳血管研究所

〒652-0803 兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2-6
TEL:078-576-2773 FAX:078-577-2792
<http://www.yoshida-hp.or.jp/>

患者さんのご紹介や当院へのご意見などは地域医療連携室にお気軽にご連絡ください。

TEL:078-576-1520 (平日 9:00~16:30 土曜 9:00~12:00 ※祝祭日は除く)